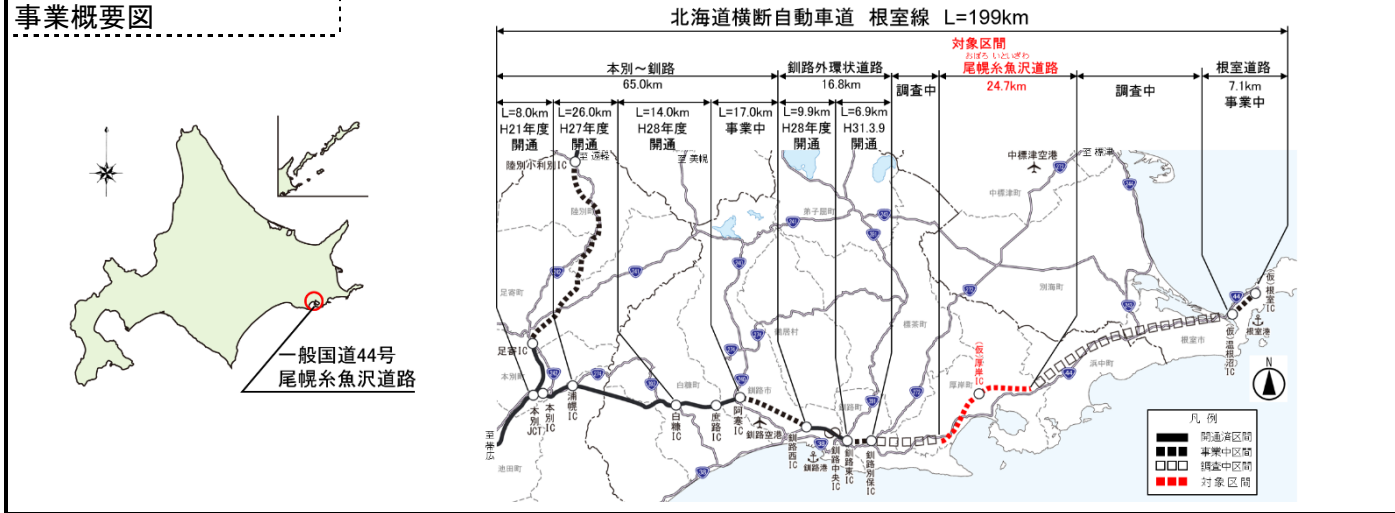


新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	一般国道44号（北海道横断自動車道根室線） おほろいといざわ 尾幌糸魚沢道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道厚岸郡厚岸町 尾幌 あつげし あつげしちょう おほろ 至：北海道厚岸郡厚岸町 糸魚沢 あつげし あつげしちょういといざわ			延長	24.7km
事業概要	尾幌糸魚沢道路は、北海道横断自動車道根室線の一部を構成する道路で、厚岸郡厚岸町尾幌から厚岸郡厚岸町糸魚沢に至る延長約25kmの自動車専用道路である。（北海道横断自動車道根室線は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市、釧路市等を経由し、根室市へ至る延長約538kmの高規格幹線道路である。）				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、津波浸水被害などの災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築し、物流効率化や観光周遊性の支援、第3次救急医療施設へのアクセス性向上により救急搬送などの救急医療活動を支援するものである。				
全体事業費	約650億円		計画交通量	約8,200台／日	
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

【北海道知事】

新規事業採択時評価に係る「一般国道44号（北海道横断自動車道根室線）尾幌糸魚沢道路」を予算化することについて同意します。

「一般国道44号（北海道横断自動車道根室線）尾幌糸魚沢道路」の整備は、大規模地震・津波発生時の避難・復旧活動への貢献、地元農水産物の輸送をはじめとする物流の効率化、安全で確実な交通の確保、釧路市の高次医療施設への救急搬送時間の短縮など多くの効果を発揮するものと考えています。

このため、道としても、沿線の自治体と連携し、地域防災力の向上などストック効果を最大限に発揮させる取組の推進に努めるとともに、地元調整など事業が円滑に推進されるよう取り組んでまいりますので、是非とも平成31年度の新規事業として予算化していただきますとともに、早期の事業完成に向けて特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H31.1）

事業評価結果

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：東川 直正

費用便益分析	B/C		1.7 (1.1)	総費用 790億円 事業費：652億円 維持管理費：138億円	総便益 1,376億円 走行時間短縮便益：1229億円 走行経費減少便益：108億円 交通事故減少便益：39億円	基準年 平成30年
	感度分析の結果		交通量変動	B/C=1.6 (交通量 -10%)	B/C=1.9 (交通量 +10%)	
			事業費変動	B/C=1.6 (事業費 +10%)	B/C=1.9 (事業費 -10%)	
			事業期間変動	B/C=1.7 (事業期間 +20%)	B/C=1.8 (事業期間 -20%)	
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	－	注目すべき影響はない。		
		事故対策	◎	別線整備により事故危険箇所を回避する。 ・事故危険箇所の回避 【現況】3箇所⇒【整備後】0箇所		
		歩行空間	－	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	第3次救急医療施設への速達性が向上。 ・第3次救急医療施設（市立釧路総合病院）60分 厚岸町カバー人口 冬季 【現況】 3.8千人(39%) → 【整備後】 8.9千人(91%) 冬季悪天候時 【現況】 0.5千人(5%) → 【整備後】 3.9千人(40%)		
		地域経済	◎	釧路市～根室市間の時間短縮により周遊観光を支援。 夏季 【現況】 131分 → 【整備後】 121分(10分短縮)		
		災害	◎	津波浸水予測範囲を回避し災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築できる。		
		環境	－	注目すべき影響はない。		
		地域社会	◎	速度向上や事故率低減など、交通環境の改善・輸送効率向上により地域の産業振興に貢献。		
	事業実施環境		○	整備に対する要望が強い。		

採択の理由

費用便益比が一体評価で1.7、個別評価で1.1と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により津波浸水予測範囲を回避し災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築し、物流効率化や観光周遊性の支援、アクセス向上による救急搬送などの救急医療活動を支援するなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段は本別JCT～根室ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
本道路は、交通機能の分担が図られることによる安全な物流ルート確保、全国屈指の生産空間を支援するとともに、釧路市高次医療施設への救急搬送時間短縮による地域医療サービスの向上、釧路市～根室市間の所要時間短縮による周遊観光支援、津波浸水予測範囲の回避による被災時の避難路・支援路確保に貢献するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	・国道44号の現道区間は、湿地帯を通過するため冠水による通行止めが発生しやすく、冬季には吹雪による視程障害が発生。 ・国道44号の現道区間には、津波浸水予測範囲が存在し、災害時の道路ネットワーク寸断により、救援物資の輸送や災害復旧に大きな支障。	※新たな北海道総合開発計画(H28.3閣議決定) ・地震・津波による被害や社会経済的影響を最小限に抑えるため、代替性の確保のための高規格幹線道路の整備を推進する。 ※第5期厚岸町総合計画(2010～2019) ・北海道横断自動車道(別保～温根沼間)の効率的な手法による早期整備要 ・国道44号の幅員拡幅や冬期路面対策、冠水対策等、交通安全対策の整備要望
住民生活	・釧路根室地域の第3次救急医療施設は市立釧路総合病院のみであり、当該施設の3次救急医療カバー面積は全国1位の広さ。 ・冬季悪天候時には搬送時間が増加し、厚岸町人口の9割以上が60分以内に到達できない。	※新たな北海道総合開発計画(H28.3閣議決定) ・基礎圏域中心都市と周辺市街地とのアクセス向上を図り、基礎圏域内外の広域的な交流を支えるため、都市間時間距離を縮める降格幹線道路網等の広域交通ネットワークを整備推進する。 ※第9期根室市総合計画(2015～2024) ・市内医療機関相互の連携や広域的な医療ネットワークの推進
地域経済 地域社会	・釧路根室地域は、さんまや生乳の全国屈指の生産地だが、輸送経路となる国道44号では市街地部の速度低下や貨物車の重大事故が発生。 ・高規格道路延伸に伴い、釧路地域は観光入込が増加傾向にある一方、高規格道路ネットワークのない根室地域は観光周遊性が低く停滞。	※新たな北海道総合開発計画(H28.3閣議決定) ・生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンク解消等を推進する。 ※厚岸町未来創生総合戦略 ・地域資源の魅力向上と広域連携による観光の推進
その他		

事業の有効性

・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価評価に変化はないものの、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。

・また、本事業において、交通機能の分担が図られることにより安全な物流ルートを確保し、全国の食を支える地域産業を支援するとともに、救急搬送時の所要時間および連絡速度が改善することにより高次医療施設へのアクセスが向上し、地域医療サービスの向上に貢献するなど有効性の高い事業と評価する。

道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	釧路市	根室市	1 7 (5)	1 . 0 0 (D)	1 . 0 0 (D)	▲ 2 3 5 . 0 8 (▲ 6 3 . 5 7)	0 . 0 8 (0.0 4)	0 . 0 6 (0.0 0)	○
				[1 . 0 0] (D)	[1 . 0 0] (D)				

事業の効率性	
・計画段階評価手続き完了（H31.1）	

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は本別JCT～根室ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果。